

道の駅オープンに向けて VOL. 9

～3つのステーション機能～

- ・回遊交流の拠点となる、地域情報発信ステーション
- ・自由な交流や経済活動が広がる地域活性のステーション
- ・まちの文化と歴史を後世に伝える過去と未来をつなぐステーション
(道の駅施設コンセプトより)

道の駅の名称が決定しました！

皆さんからご応募いただいた 334 作品を「道の駅名称公募選考委員会」で慎重に選考させていただき、名称を決定しました。

名称 道の駅 あびら D51 ステーション (あびら であいちすてーしょん)

応募者 大西秀貴さん (安平町在住)

由来 安平町は日本で最後に D51 が走った町です。世界で最高の状態で保存されている D51-320 が道の駅に展示されることから命名しました。

- 決定理由**
- ・ D 51 型蒸気機関車がここまで最高の状態で残されていることは、安平町の誇りであり強みでもあるため、これを名称に盛り込むことで施設の独自性を発信することができる。
 - ・ SL の代表格でもある「D 51」を名称の前面に出すことは、来場者に対するインパクトが強まるため、PR 性が高まるとともに道の駅の認知度向上につながることを期待される。
 - ・ 駅舎風のデザインや D 51 型蒸気機関車の配置が道の駅の特徴であるため、施設イメージと名称を一致させることが対外的な認知度につながると考えられる。
 - ・ 「ステーション」という文言は、駅舎風の建物イメージを連想させる作用がある。
 - ・ 道の駅の施設コンセプトである「3つのステーション機能」を的確に表現している。

■「道の駅名称公募選考委員会」では、約 3 ヶ月にわたって審議が進められてきました。

選考委員会は、あびら観光協会や安平町商工会、(仮称)道の駅あびら生産者協議会、回遊・交流戦略検討会、あびら道の駅を考える会からそれぞれ選出された代表者、及び、町長により構成。

時期	項目	内容
9月22日	第1回選考委員会	名称条件や応募方法などを委員全体で確認。
10月5日～10月31日 【名称公募期間】		
11月9日～ 11月15日	第1次選考	幅広いアイデアから寄せられた応募作品を分類整理。334作品から24作品を選考。
11月16日	商標登録の確認①	他の商標登録との重複状況を確認。
11月20日	第2回選考委員会	第1次選考の24作品から3作品を選考。
11月27日	商標登録の確認②	上記3作品について、他の商標登録との重複状況を確認。
12月11日	第3回選考委員会	道の駅の名称候補を最終決定。

学校を通してご応募いただいた、町内の小・中学校、追分高校の皆さん、また、ていあんくんやメール、FAX 等でご応募いただきました多くの方々に、厚く御礼申し上げます。

テイクアウト商品の開発

12月6日に、追分公民館でカンロソフトクリームとご当地コロッケの試食会が開催されました。

ソフトクリームは、追分カンロ組合に提供いただいたカンロを苦小牧工業高等専門学校に依頼して果汁化し、バニラベース生地とミックスさせて製造。試食した回遊・交流戦略検討会やあびら観光協会特産品開発専門委員会のメンバーからは、「風味が良くさっぱりしている」と評価は上々でした。

また、ご当地コロッケは、豆乳や菜の花など5品目を試作。いずれも好評だったため、今後は材料の供給元や、通年の製造方法等について話し合われていく予定です。



追分カンロソフトクリーム
の試作品